

自作教具の活用事例

【作品名】 ミッションすごろく（発音編）	【学校名】 日立市立日高小学校
【活用できる領域・教科等】 自立活動	【制作者名】 宇須井 一江
【制作の意図】 楽しく発音練習に取り組ませるためのすごろくだが、会話を通したコミュニケーションも図れるようにした。児童と一緒に、発音練習や言葉遊び、会話を楽しむための教材として作成した。	【使用の方法】 ●ミッションすごろく（発音編）の遊び方 ・すごろくシートの指示に従って、コマを進める。 ・「ミッション」と書いてあるマスに止まったら、秘密ボックスからミッションカードを引いて、指示に従う。 ・絵マークに止まった時は、課題となる音や言葉の発音練習を5回行う。
【制作上の工夫】 ・練習させたい音や言葉は、すごろくシートには直接書かず、どんな課題にも対応できるように、絵マークで分かるようにした。 ・絵マークは、日高小のキャラクターである「日高っころん」を使用した。	【見取り図】 ●すごろくシートの内容 ・みんなでにらめっこをする。 ・ジャンケンして勝ったら1マス進む。 ・みんなの頭をなでなでする。 ・すっぱい顔をする。 ・1回休み。 ・動物のマネをする。 ・みんなでハイタッチをする。 ・片足立ちで5つ数える。 ・「フーフーピンポン」をする。 ●ミッションカードの内容 ・○のつく言葉を3つ言う。 ・サイコロをふって、出た目の数だけ「○○○」と言う。 ・「○○○」を5回やる。 ・「○○○」と言いながら3回ジャンプする。 ・その他、ほめほめタイム、楽しかった思い出、好きな○○嫌いな○○など、カードに書かれた内容について、自由に会話を楽しむ内容になっている。
【写真】 すごろくシート   ミッションカード	【使用効果と応用発展】 ●使用効果 ・このミッションすごろくは、たまにしか行わないが、先生や友達と一緒に、遊びながら発音練習や言葉遊びができ、会話が楽しめるので、児童に人気がある。 ●応用発展 ・今回紹介したのは「発音編」だが、他にも、「おしゃべり編」や「吃音編」のミッションすごろくがある。
【材料・材質・部品等】 ●すごろくシート ・A3用紙に印刷したものをラミネートして仕上げた。 ●ミッションカード ・カードの大きさは、5cm×5cm。 ・日高っころんの表紙の裏に、ミッションを書いて、秘密ボックスの中に入れておく。	